

災 害 救 護 速 報

令和元年6月19日(水) 17:00 現在
事業局 救護・福祉部 救護課
TEL: 03-3437-7084 / FAX: 03-3435-8509

※下線部は前回からの変更箇所

山形県沖を震源とする地震による被害及び日本赤十字社の対応について (3)

日本赤十字社の対応は以下のとおりです。

1 地震の概要 (気象庁情報)

発生日時	令和元年6月18日22時22分頃
震央地名	山形県沖(北緯38.6度/東経139.5度)
震源の深さ	14km
規模	マグニチュード6.7
各地の震度	震度6強 新潟県村上市 震度6弱 山形県鶴岡市 震度5弱 秋田県由利本荘市 山形県酒田市、大蔵村、三川町 新潟県長岡市、柏崎市、阿賀町

2 被害状況等 (6月19日 消防庁情報第8報)

- (1) 人的被害 【宮城県】軽傷4人(仙台市、栗原市、大崎市)
【山形県】軽傷17人(酒田市、鶴岡市、新庄市、川西町、高畠町、遊佐町)
【新潟県】重症1人(燕市)
軽症3人(村上市、柏崎市、新潟市)
【石川県】軽傷1人(七尾市)
- (2) 住家被害 【山形県】確認中
【新潟県】一部破損46棟(村上市)

(3)避難状況（6月19日13時00分現在）

県名	市町村名	避難所数	実避難者数
山形県	鶴岡市	<u>2</u>	<u>43</u>
新潟県	村上市	<u>1</u>	<u>2</u>
合計		<u>3</u>	<u>45</u>

3 日本赤十字社の対応

(1) 体制

ブロック	支部名	体制
	本社	第2次救護体制 → 第1次救護体制へ移行 (5:55)
第1ブロック	山形県支部	第1次救護体制 → 職員自宅待機へ移行 (3:53)
	宮城県支部	第1次救護体制 → 職員自宅待機へ移行 (2:19)
第2ブロック	新潟県支部	第3次救護体制 → 第2次救護体制へ移行 (2:20)
	東京都支部	第1次救護体制

(2) 救護班等の活動

- ・山形県支部職員2名を山形県災害対策本部へリエゾン派遣
- ・新潟県支部職員1名を新潟県災害対策本部へリエゾン派遣
- ・新潟県支部職員2名を村上市災害対策本部へリエゾン派遣
- ・長岡赤十字病院 DMAT 1 チームを新潟県支部へ参集 → 村上総合病院へ
 →村上総合病院にて活動を行い日本 DMAT としての活動終了。その後、日本赤十字社山形県支部と山形県災害対策本部との協議の結果、同支部救護班として鶴岡市温海地区^{あつみ}で避難所1か所に対し、医療ニーズの調査を実施。

(3) 日本赤十字社関連施設の主な被害状況

- ・全関連施設庁舎、職員、患者共に被害なし

(4) 救援物資の配分

搬出支部	品目			配分先	配分日
	毛布	緊急セット	安眠セット		
山形県支部	30 枚			鶴岡市 ^{あつみ} 温海地区	6 月 19 日
新潟県支部		168 セット	408 セット	村上市 ^{さんぼく} 山北地区	6 月 19 日
合計	30 枚	168 セット	408 セット		

(5) その他

- ・新潟県支部は、自支部のみで対応可能（※ 本社初動要員の派遣予定なし。）